

健康 進取 敬愛

北中だより

文責：三田 康弘

生徒の皆さんへ

『北Next Project』!

12月7日の生徒集会で、後期生徒会本部役員の皆さんが、これからの北中のために次のような素晴らしい提案してくれました。もう一度、みんなで内容を確認してほしいと思います。

『北Next Project』 ～新たなステージに向けて～ I 挨拶 II 積極性 III いじめ0

Iの挨拶については、今まで以上に挨拶を徹底するために

- ①各クラスの挨拶運動（火曜日・金曜日の従来通りに行います）
- ②十字路での呼びかけ（生徒会本部役員が週に一回、通学路の十字路に立って、挨拶を呼びかけます。）

↓

「挨拶をしっかりすることで、周りが明るくなります。」

「コミュニケーションを深めることにより、新たなつながりが生まれたり、今まで以上に、つながりが強くなります。」

IIの積極性については、自分達から進んで

(1) ボランティア

picture plan・・・ボランティア活動の様子を写真に収め、学校中にボランティア精神を今まで以上に学校に広めます。

(2) 交通安全

police plan・・・上記のIの挨拶②によって、生徒自ら積極的に交通安全を守り、交通事故を起こさないようという意識を向上させます。

(3) 授業

class plan・・・毎週月曜日の朝の会の時間に、生徒会本部役員が「積極的に授業に取り組むよう」に、校内放送で呼びかけます。

IIIのいじめ0については、いじめを絶対にさせない、見逃さないために

- ①見回り・・・昼休みの見回りで、いじめの芽を見つけたときには、注意します。
- ②呼びかけ・・・放課後は、すぐに部活動に向かう、または用事のないときには帰宅することを各クラスの学級代表に呼びかけることで、いじめやその他のトラブルを未然に防ぎます。
- ③アンケート・・・生徒会独自のアンケートで、各クラスにいじめはないかなどの現状を把握し、すぐに対応できるようにします。

今日から『先憂後楽』の姿勢で のぞもう!!

～ サークル活動は「今を楽しむ」 部活動は「今がある」 ～

皆さんは、公民館などで大人の人達が行っている「サークル活動」と、皆さんの行っている「部活動」の違いについて考えたことがありますか。私は次のような違いがあると考えています。

1. サークル活動は「今を楽しむ」

私は「桐生走ろう会」という、走る仲間の会に入っています。いわゆるサークル活動です。そのサークルでは、週末に仲間達が集まり、みんなで一緒に話をしながらランニングをしたり、ときには一緒に長い距離を競走したりしています。仲間達は、その時間を一緒に楽しむために集まります。すなわちサークル活動は、仲間が集まり、集まった「その今（時間）を楽しんでいる」のだと言えます。

2. 部活動は「今がある」

部活動はどうでしょうか。生徒の皆さんが放課後、または休日に集まります。それは、その集まった時間を楽しむために、集まるのでしょうか?私は違うと思います。確かに、集まった時間を楽しむこともあるでしょう。でも、そのためにだけ集まるわけではありません。部活動の仲間達は、例えば

- ・みんなで県大会に出場しよう
- ・コンクールで金賞をとろう
- ・市大会でベスト8に入ろう、等の1年後または半年後を目指した具体的な目標があるはずで、「その目標に対して今がある」のです。

3. 『先憂後楽』とは

部活動は、「目標に対して今がある」と考えると、毎日毎日の時間を決して無駄にははいけなはずです。部活動の仲間とともに決めた目標に向けて、大きな大会のないこの冬の季節こそ、いかに過ごすかがとても大切になります。自分自身の、または自分達の部のウィークポイントにしっかりと目を向けて、そこを鍛え直さなければなりません。その結果、土台をしっかりと固めるために、基礎・基本から徹底的にやり直す必要があるかもしれません。いずれにしても、この冬は厳しく苦しい練習があるはずで、この厳しさや苦しさを後に延ばさずに、まず先にすることで、あとで楽しいこと（技術が向上した、気持ちが強くなった等）が待っています。それを『先憂後楽』と言います。この姿勢こそが「目標に対して今がある」に叶った心構えだと私は思います。皆さんは、これから先もいろいろな目標を設定し、その達成に向かって進んでいくことと思いますが、いつでもこの『先憂後楽』の姿勢で臨めば、目標は達成できるはずで、

1, 2年生の皆さん、中体連の春季大会まで後4ヶ月しかありません。この冬は『先憂後楽』で頑張ってください。

3年生の皆さんも「目標（高校入試）に対して今（冬休み）がある」のだと思います。『先憂後楽』の姿勢で、3月の後期試験の本番まで乗り切ってください。

10月14日に「生徒会本部役員選挙 立会演説会」が行われ、14名の候補者が立候補しました。その中の8名が当選し、残念ながら6名の人が落選してしまいました。でも、その6名の人も北中学校を「太田一」の学校にしたいという強い気持ちは何ら変わりません。なぜかと言うと、候補者全員の演説の中に「太田一」の学校にするための素晴らしいアイデアが沢山盛り込まれていたからです。以下に主なものを上げてみます。

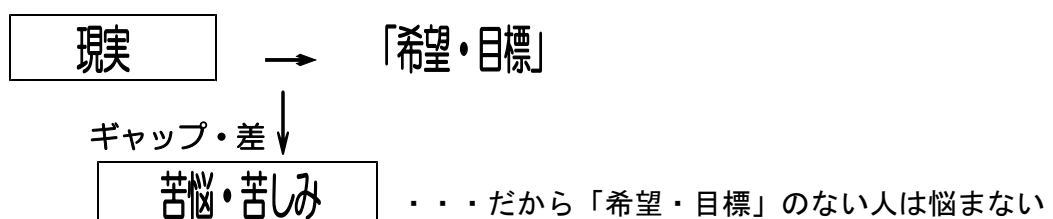
- 学校だけでなく、家族や地域の人にも笑顔でしっかり挨拶をする。
- 毎週月曜日に1クラスずつ順番を決めて、玄関で挨拶をする。
- 学校行事を生徒中心にして、盛り上げて楽しむ。
- 朝、昼休み、下校時間で生徒会が挨拶運動を進める。
- 地域との交流を深めるために、ボランティア活動を積極的に進める。
- 挨拶アンケートを実施して。日頃の挨拶を自己評価してもらう。
- クラスごとに挨拶運動を行い、一番よくあいさつができたクラスを表彰する。
- 一人一人の意見を受けとめる「意見ボックス」を設置する。
- 週に1回、校歌を歌う。
- エコキャップ運動を引き継ぐ。 等々・・・・・・・・・・

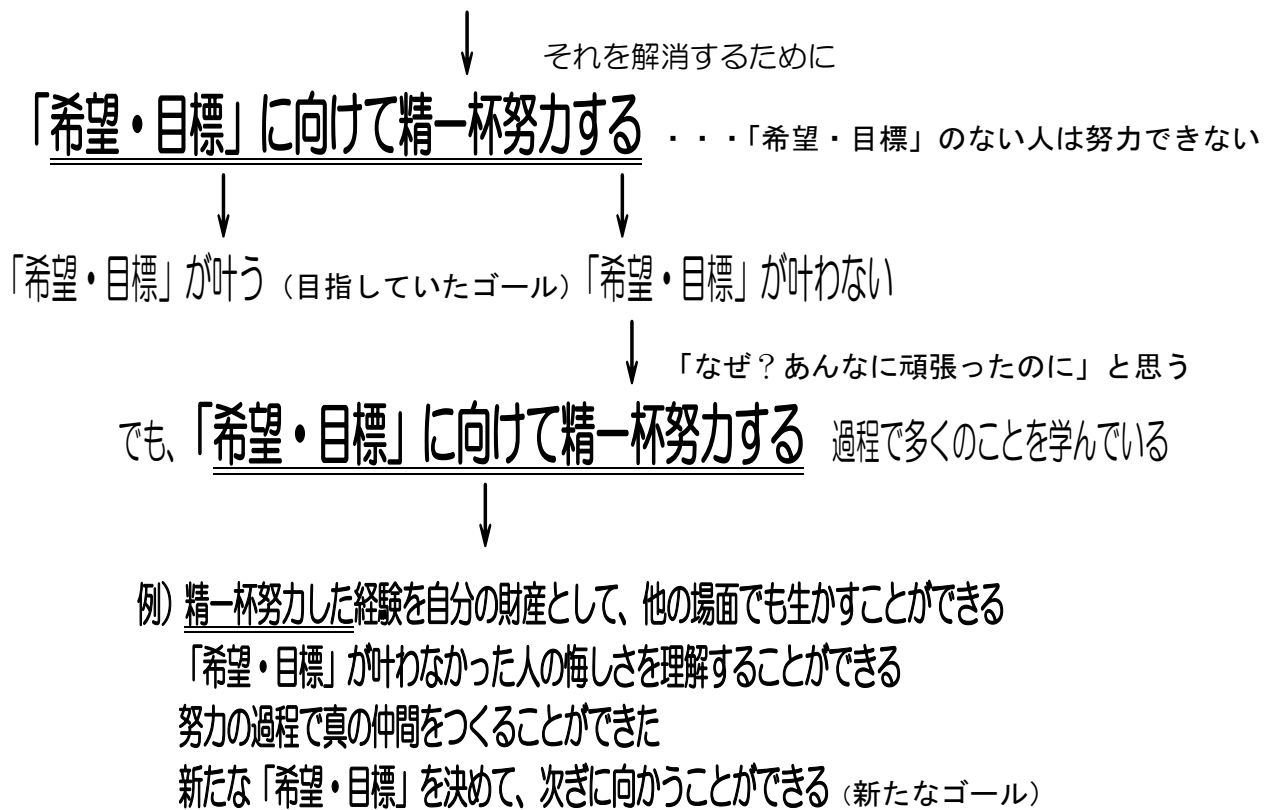
前期の本部役員の皆さんが、北中学校を太田一の学校にするために、様々なことを計画・立案し、実行に移してくれました。新たに後期本部役員になられた8名の人たちは、ぜひ、その実績を引き継ぎながらも、上に出されたようなアイデアも参考にして、さらに「残り20% With Up」に向けて、北中を推進させてほしいと思います。期待しています。

最後になりますが、14名の立候補者の皆さん、そして責任者の皆さん、北中学校を太田一の学校にするために、立会演説会を通して、全生徒に大きなエネルギーを与えてくれました。凡事徹底を強化し、「挨拶・清掃・規律」を基本にして、誰もが「太田一」の学校にするための演説でした。本当にありがとうございました。

『精一杯努力する』過程で得られる成果!

みなさんは一人一人、今、いろいろな夢をもっていることでしょう。動物は夢を持ちませんから、夢を持つことは、人間に許された「最高の尊厳」だとも言えます。未来に希望を抱いたり、将来の夢を描いたりすることは、人が「今」をしっかりと生きている上で必要不可欠なことだと思います。その夢に関連して、自分の「希望・目標」もあるでしょう。でも、その「希望・目標」と現実のギャップとのはざままで、苦しんでいる人も、おそらくたくさんいるのではないのでしょうか。それについて私は下のようになっています。





まずは「希望・目標」に向けて『精一杯努力する』という姿勢が必要です。それがあれば、目指していたゴールと新しいゴールのどちらかにつながるので。

場合によっては、「希望・目標」がすんなりと叶わないで、精一杯努力した過程で得られた事柄・成果こそが、後々多くの幸せにつながることもたくさんあります。大切なことは結果よりもそこに向けての過程なんですね。

このように結果以上にそのプロセス（過程）を大事にする考えが、「プロセス（過程）第一主義」です。「プロセス（過程）第一主義」は、方法と手段に重きを置き、たとえ良い結果につながらなくても、その過程での成果を大事にする考えです。ですから、その過程で多くのことが得られたことに気付くことが大切です。もちろん良い結果につながるように精一杯努力する必要はあるのですが、過程を大切にすることで、必要以上に結果におびえることもありません。精一杯努力したという経験こそが、自分の一番の財産になるのですから。

今、皆さんは合唱コンクールに向けて、頑張っているかと思います。ぜひ妥協することなく、精一杯の努力をしてください。結果にかかわらず、必ずや手にするものがあるはずですよ。